



ひろば 大代

No. 528

令和5年7月号

大田市の人口
(R5. 7. 1 現在)
大田市 32,432人
内大代町 297人
男 136人
女 161人

田中公道氏テノールリサイタルを

鑑賞して

下飯谷 和田智恵

私は、6月18日にありました大田市民会館開館60周年記念田中公道テノールリサイタルに行きました。

地元大代町の出身であり、86歳にして現役のオペラ歌手として日本だけでなく世界各国で活躍されていることを知り、友人と共に市民会館に足を運びました。

私たちが市民会館に入った時には、ほぼ客席は埋まっており関心のある方の多さとお世話された方々の尽力を感じました。

ステージにはグラランドピアノが1台だけ置かれており、ピアニストの山木牧子さんが登場され、続いて田中公道氏が登場されました。

日本語ではないけれど聞き覚えのあるメロディーと強い響きのある歌声に圧倒され最初の曲、歌劇「トゥーランドット」が終わりました。

曲の解説も交えて9曲目には「宵待草」が歌われ日本語で耳に優しく入ってき

て心が和む気がしました。

全部で12曲が終わりアンコールでは、「川の流れのように」が流れるとマスクの中では唇が自然と動いていました。おそらく会場のお客様も同じではなかったかと思います。

最後に、川合町出身の岩谷時子さん作詞「マイウェイ」が聞こえてきた時には、それぞれの人生を振り返りながら涙する人もおられたと思います。

なんだか晴れ晴れとした気持ちでホールを出ると市民会館出口には田中公道氏がお客様をお見送りされていて、大代町民の方や田辺先生とお話しされているのを見るととても親近感がわき、私も握手をしてもらいました。しなやかな手の感覚と歌声のパワーとのギャップを感じ不思議な気持ちになり、清々しい思いで帰路につきました。



えびすの会 5年目を迎えて

コーディネート 笠井節夫

皆さん毎日を元気に過ごしておられますか！

「高齢者通いの場」えびすの会も令和元年7月の開所から、早いものでこの6月で丸4年になりました。7月から5年を迎える事と成り、改めて月日の流れの早さを感じております。

この事業では、介護予防やフレイル（加齢により心身が古い衰えた状態）予防を軸に地域ぐるみで支え合う体制づくりを目的としております。

例えば4年前、高齢の両親を地元で面倒見ながら仕事が出来ないかとの考えから今の仕事に出会いました。フルタイムの仕事を辞めて、不慣れな仕事で不安な気持ちでスタートした記憶が蘇ってきましたが、お陰様で各組織の皆さんをはじめ、スタッフ、サポートの皆さんのご理解、ご協力があったこの仕事もこれまで継続されていると思っております。本当に有難い事です。皆さんに感謝しております。

未だに毎月のプログラムを考えるのには苦労している所ですが、利用者さん、スタッフの皆さんから「楽しかったよ」「おもしろかったよ」「週1のえびすへ来るのが楽しみ」なんて言われると苦も無くなり、最近は皆さんと一緒に楽しく仕事が出来ております。これからも利用者さんはもちろんですが、皆さん楽しく参加していただけるような通いの場「えびすの会」にしていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。



窯芸教室に参加して

八反田 長谷保孝

6月24日に大田三中で開催された、窯芸教室に参加しました。窯芸教室は、大田三中・PTA・高山4まちセンの

共催で行われ、各地域から約40名の参加がありました。

ご存じのとおり、大田三中には全国的にも珍しい登り窯があり、これまでに沢山の作品が焼き上げられています。

そもそも私がこの教室に参加しようと思ったのは、私のくつろぎのひとつである「コーヒータム」に、自分で作ったカップや器具でコーヒーを入れることができたなら、どんなに美味しく飲めることだろうと思ったからです。

私は初めてなので、講師の水上窯芸クラブのみなさんのご指導をいただき、「焼き上がりは今日作ったものよりも約1割くらい縮みますよ」という言葉から始めました。高台は器を安定して置くためのものですが、他にも本焼きのときに器に塗った釉薬が熱で溶け、器と器を並べる台とが接着するのを防ぐ役目があるのだということを知りました。あとはひも状に延ばした土を手びねりという方法で高台のうえにくっつけ、それを何段にも積み重ね、隙間ができないように丁寧に指で整え、水

を付けた手や皮革で、表面を滑らかに仕上げれば完成です。

口で言うのは簡単ですが、これがなかなか思い通りになりません。ある程度予想はしていたものの、あらかじめイメージしていたコーヒーカップとドリッパーはどこへやら……。結局出来上がったものは、分厚い湯呑と、サラダボウル風の器へと様変わりしてしました。

このあとこれらを素焼きしてもらったあと、釉薬を塗りに行き、それを本焼きしてもらって完成という運びです。その間、窯入れ、窯出し、運搬など、三中の生徒さんや関係者、ボランティアの皆さんには暑い時期にご苦労いただくことになり、頭が下がる思いです。



思い通りの作品はできませんでしたが、ビートルズでも聴きながら分厚い湯呑にコーヒーを入れ、サラダボウル風の器に入れたナッツを頬張る。そんな至福のひとつときが訪れることを、今から心待ちにしています。

窯芸教室を開催してくださった関係者の皆さん、ありがとうございました。そしてこれからも窯芸教室が三中と地域を結ぶ懸け橋の一つとして続いていくことを願っています。



関西高山会会長挨拶

関西高山会会長 砂原政好

大代高山会、東京高山会の皆さん、いつも大変お世話になっております事を紙面ではありますが厚く御礼申し上げます。

坂井晋会長の後を引き継いで会長を務めさせて頂く事になりました飯谷の砂原です。よろしくお願い致します。

私は、1946年（昭和21年）11月23日生まれで76歳です。後期高齢者となり、気持ちは若いつもりですが、皆さんには追い付けないところがあります。

さて、令和5年6月11日（日）大阪玉造の海鮮居酒屋大榎で第29回関西高山会が総会なしで（懇親会のみ）3年ぶりに開かれました。皆さんと顔を合わせる機会が無くなり忘れてしまいが、そうなくらいに長く感じていましたが、久しぶりの顔合わせとなり参加者の皆さんも元気がもらえたのではないのでしょうか。コロナが5類に移行されて気を付けながらの外出が出来るようになった事は嬉しい事ですが、まだ注意が必要だと思えます。来年の関西高山会はどうなることか、まだ不安ですね。以前の様に安心して関西高山会が開けることを今から願っています。

さて、これからの関西高山会の課題は難問がいっぱいです。会員の皆さんが高齢化していることです。続けて行く為には皆さんの声を反映しながら役員を中心に全会員が主人公になって高

山会を続行させる事だと思っております。若い会員の皆さんとも一緒に協力しながら何でも話し合える会になる事だと思っております。何処にもない唯一のふるさとを語る会が今まで続けてこられたのもきずなでしょう。来年の関西高山会は第30回を迎えます。会員の皆さんの知恵と力を出し合って顔を合わせて喜び合いたいと願っております。



最後に皆さんのご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げて挨拶とさせていただきます。今後共よろしくお願い致します。

大変お世話になりました

後藤貴子

この度、一身上の都合により、6月末で大代まちづくりセンターを退職いたしました。

とても充実した、楽しい3年間でした。ありがとうございました。



8月行事予定

▼14日(月) 第35回都市とふるさとを

結ぶ交流会

※詳細はホームページ等で別途掲載します。

▼22日(火) 連合自治会

~~~~~

▼3日・10日・17日・24日・31日(木)

えびすの会 9時半～11時半

※行事は延期・中止になる場合があります。

## 大代地区社協よりお知らせ

大場清志 様より

香典返しにかえ御厚志を頂きました。厚く御礼申し上げます。

+++++

## 俳句

あすなる句会

井田 水谷訓子

青田風受けて自転車坂の道  
縁側に夏の月と共に在り

川上 岩田律枝

孫漬しらつきょう食す夕餉かな  
夏菊を仏花に朝夕癒されし

上市 横田美恵子

暗き夜にひっそり黄色の月見草  
葛饅頭甘さ冷やして友と食ぶ

+++++

